

2025 同志社大学 (2/7 実施 政策・文化情報 (文系)・スポーツ健康科 (文系)) 日本史 概評

出題分析			
試験時間 75 分	配点 150 点	大問数 3 題	
分量 (昨年比較) [減少 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同程度</span> 増加]	難易度変化 (昨年比較) [易化 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同程度</span> 難化]		
<p><b>【概評】</b></p> <p>今年は大問 3 題のうち, [Ⅰ] では古代の文化, [Ⅱ] では中世の経済・社会, [Ⅲ] では江戸時代～明治時代初期の農民・都市民の抵抗運動と政治が扱われた。前近代では原始の出題がなく, 近現代に関しても明治時代後期以降の出題がなかった。また, 史料問題は出題されなかった。</p> <p>年代など一部で細かい知識が求められ, また受験生の苦手とする文化史や経済史が多く出題されたものの, 基礎的な知識で解けるものも多かった。教科書だけでなく用語集・史料集・図説資料集を含めた学習が満遍なくできているかどうかが問われており, 問題演習を含めた日頃の学習の成果が如実に反映されるような問題構成であった。</p>			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
[Ⅰ]	古代の文化	辞典の「古代」の項目を引用して, 主に古代の文化に関する出題がなされた。イ. 「694 年に遷された宮の名」を問われているため, 藤原宮と解答するのが適当。キ. 三跡の一人である藤原行成について, 彼の著作までおさえておく必要があった。ク. 皇后定子 (藤原道隆の娘) に仕えた清少納言との区別に注意。c. 宗派までおさえておく必要があるのは細かい。g. 語群に法性寺もあるため, 混同しないようにしたい。	標準
[Ⅱ]	中世の経済・社会	鎌倉・室町時代の商業・産業史をテーマにし, 中世の経済・社会が出題された。イ・ウ. 混同しないように注意。特にウは漢字にも気をつけたい。カ. やや難。一部の教科書に記載はあるが, 空欄前後から判断するのは難しい。b. 難。本学で過去に同様の出題がなされたこともある。d. やや難。3 の桐生絹以外は判断がつかなかっただろう。	標準

設問別講評			
〔Ⅲ〕	江戸時代～明治時代初期の農民・都市民の抵抗運動と政治	江戸時代から明治時代初期の政治・経済・社会が問われ、一部かなり細かい年代の判断が求められる問題が出題された。c. やや難。一部の教科書では記載があるもの、あまり見慣れない問われ方がされているため、判断に迷っただろう。f. 1か3で迷っただろう。徳川家治の治世がおおむね田沼時代にあたることを想定し、宝暦と明和の元号に注目してその前後関係を考えたい。g. このような問われ方をされると、やや想起しにくい。i. やや難。徳川家斉の治世下の元号が文化・文政期とわかっておく必要があった。j. 難。かなり細かい年代の知識が問われた。m. 「う」の知識が細かい。正しくは「1年間」ではなく、「3年間」。n. 1と3は判断できるが、2はほとんど知られておらず、正解の4もやや細かい。	やや難

#### 合格のための学習法

同志社大学入試日本史でカギを握る記述問題においては、標準的な日本史の知識で対応できることが多い一方、選択問題の一部では細かい知識が求められる。したがって、記述問題で漢字の書き取りを含めて落ち着いて取り組むことで、失点を極力減らし、細かい知識を要求される選択問題をフォローする必要がある。合格のためには、教科書本文に加えて、用語集の解説の細部および史料集や図説資料集を精読して理解を深めることが大切である。また、誤字による失点を防ぐために、漢字表記を含めた正確な記述を心掛けることが望ましい。過去問と設問内容が重複する問題も見られるため、過去問演習を通して、その内容についての復習も徹底した上で、本番に備えてほしい。